



かみさと



議会 だより

- ◇9月定例会の審議状況 ……P 2
- ◇令和3年度決算審査報告 ……P 5
- ◇9月定例会一般質問に10人…P 6
- ◇10月臨時会の審議状況 ……P16
- ◇意見交換会ならびに議会報告会を開催 …P17
- ◇12月定例会会期日程等 ……P18

上里町
指定文化財

吉祥院 阿弥陀如来座像

97

大御堂・吉祥院

吉祥院には、かつて「大御堂」の地名の由来となった大きな阿弥陀堂があり、この阿弥陀如来座像はもともとこの堂に安置されていた。総高3.67m。町内最大の仏像で、玉眼、全身に金漆箔が施されている。室町末期造像。

第5回 9月 定例会

9月2日～9月30日



令和3年度決算を認定、教育長の任命に同意

9月定例会は、9月2日に開会され、議員10名の一般質問と町長提出議案等22件を審議して9月30日に閉会しました。

◆ 専決処分 ◆

専決処分の承認を求めること

要旨 8月10日に行った、令和4年度上里町一般会計補正予算(第6号)の専決処分について承認を求めるもので、歳入歳出それぞれ2億4822万8千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ103億3214万8千円とするものです。

・農業災害対策事業(降ひょう被害に関する支援事業)

2億4822万8千円

◆ 条例 ◆

上里町税条例等の一部を改正する条例

要旨 地方税法等の一部を改正する法律等が公布されたこと

とに伴い、個人住民税に関する扶養親族申告書の記載事項の追加等の改正をするものです。

上里町職員の育児休業等に関する条例及び上里町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

要旨 地方公務員の育児休業等に関する法律等の改正を踏まえ、「非常勤職員の育児取得要件の緩和」に関する規定等を追加するものです。

上里町予防接種健康被害調査委員会条例

要旨 予防接種の影響により健康被害が生じた方が、健康被害救済の給付を受けるための調査を行う、予防接種健康被害調査委員会を設置するものです。

◆ 令和4年度補正予算 ◆

上里町一般会計補正予算(第7号)

概要 歳入歳出それぞれ5億7258万8千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ109億473万6千円とするものです。

主な歳出の補正内容は次のとおりです。

・財政調整基金積立金

1億5千万円

・公共施設等用地取得及び施設整備基金積立金

1億4千万円

・減債基金積立金

1億4千万円

(令和3年度決算の剰余金を積立てるもの)

・男女共同参画推進センター運営事業(空調設備改修等)

5181万9千円

上里町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

概要 主な歳出の補正内容は次のとおりです。

・一般管理給与費(時間外勤務手当等) 82万円

上里町介護保険特別会計補正予算(第1号)

概要 主な歳出の補正内容は次のとおりです。

・一般会計繰出金(前年度の介護保険事業の確定に伴う町への清算金) 2866万3千円

・返還金(地域支援事業の実績報告に伴う国、県等への返還金) 2081万9千円

上里町水道事業会計補正予算(第3号)

要旨 人事異動に伴い職員給与と費に不足が生じるため、255万2千円の増額補正を行うものです。

上里町一般会計補正予算
(第8号)

概要 歳入歳出それぞれ1億2674万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ110億3147万6千円とするものです。

・予防対策事業(新型コロナウイルスワクチン接種に関する委託料等)
1億2674万円

◆ 人 事 ◆

固定資産評価員の選任

要旨 江原洋一氏が辞職したことに伴い、新たな固定資産評価員として、現上里町副町長、島田邦弘氏の選任を提案するものです。

公平委員会委員の選任

要旨 古田島正二氏が9月30日をもって任期満了となるため、新たな委員に、松村貞明氏の選任を提案するものです。

固定資産評価審査委員会委員の選任

要旨 相川岩雄氏が9月30日をもって任期満了となるため、新たな委員に、新井和男氏の選任を提案するものです。

教育委員会教育長の任命

要旨 埴岡正人氏が9月30日をもって任期満了となるため、新たな教育長に、齊藤雅男氏の任命を提案するものです。

教育委員会委員の任命

要旨 齊藤雅男氏が辞職したことに伴い、新たな委員に、高階良雄氏の任命を提案するものです。

教育委員会委員の任命

要旨 相川崇樹氏が9月30日をもって任期満了となるため、新たな委員に、池田浩美氏の任命を提案するものです。

9月定例会 議案に対する各議員の賛否

議案	議員名													結果	
	石井慎也	伊藤 覚	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	高橋正行	新井 實	沓澤幸子	高橋 仁		
専決処分の承認を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	同意
上里町税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町職員の育児休業等に関する条例及び上里町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町予防接種健康被害調査委員会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
令和4年度	上里町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	上里町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	上里町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	上里町水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
令和3年度	上里町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	○		認定
	上里町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	○		認定
	上里町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	○		認定
	上里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	○		認定
	上里町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○		認定
	上里町水道事業剰余金の処分及び決算の認定	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○		認定
上里町下水道事業剰余金の処分及び決算の認定	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定		
令和4年度上里町一般会計補正予算(第8号)	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
固定資産評価員の選任	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		同意
公平委員会委員の選任	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		同意
固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		同意
教育委員会教育長の任命	○	×	—	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		同意
(議案第52号)教育委員会委員の任命	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
(議案第53号)教育委員会委員の任命	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	

*議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。(○賛成 ×反対 一欠席)

決算特別委員会で質疑が行われました (抜粋)

9月8日、議員12名で構成する決算特別委員会が設置され、各会計の決算内容の審査が付託されました。決算特別委員会では、9月9日から26日まで9日間に渡り、各課の関係職員の出席を求め、令和3年度決算に対する審査を実施いたしました。



委員会の様子

個人町民税賦課事務について

問 普通徴収（納付書払い）は滞納が多くなると思われるが、特別徴収（給与等からの支払い）の比率について、県内における上里町の状況は。

答 上里町の特別徴収の率は、以前は低い状況であったが、事業所への積極的な働きかけにより、給与所得者のうち86.1%、県内17位であり、収納率アップにつながっている。

生活保護申請受付等事務について

問 コロナウイルス感染拡大の影響もあり、受給者が増加したのではないかと。

答 コロナによる離職もあり、生活困窮者も増えたが、受給者の増加に大きな影響はなかった。今後も北部福祉事務所と連携して支援していく。

ふるさと納税返礼品について

問 ふるさと納税の返礼品は特色ある町の産業の魅力を表すものであると考えられるが、一般の町民には知られておらず、広くPRしてはどうか。

答 機会をとらえPRしていきたい。

賀美小地区地域支え合い事業について

問 地域で高齢者を支える当事業が賀美地区をモデルとして開始されたが、利用状況と仕事内容は。

答 3名6件の利用があった。チラシにはゴミ出しと草刈りと記載されているが、それ以外については会長、副会長、コーディネーターが相談し可能であれば対応する。

電気自動車充電施設工事について

問 設置した電気自動車充電施設の利用状況は。また、役場では電気自動車を何台保有しているか。

答 今回設置したものは一般ユーザー用で、5月に37回、6月に55回、7月に69回である。役場の保有台数は1台である。

国民健康保険療養給付費について

問 一人当たり医療費が年々増加しているが原因は何か。

答 社会保険制度の変更で、事業所の従業者数に応じて社会保険に加入しなければならないことになっており、元気な方が社会保険に移行していることから1人当たり医療費が上昇していることが一要因ではないかと思われる。

中高生学習スペースの設置について

問 七本木児童館、神保原児童館の中高生支援について、どのような日に利用が多いのか。

答 七本木児童館は平日、神保原児童館は夏休み等の長期休業日の利用者が多い。多くの方に利用していただけるように周知方法を検討していく。

中央公民館の移転について

問 中央公民館が3月末でワープ上里に移転したが、中央公民館としての機能を保っているか。利用者からの声はないか。

答 利用者からご意見はいただいている。中央公民館のあり方については、町内施設の有効活用を図りながら検討していく。

教育用タブレットについて

問 児童・生徒はタブレットを持ち帰っていないようだがどうなのか。また、使い勝手はどのようか。

答 持ち帰りについては推奨しているが、学校や担任でそれぞれで対応している。上里町ではキーボード付きの2in 1型を導入しており、使いにくいと感じることのないよう指導してまいりたい。

水道事業配水管布設事業について

問 平成30年度からの継続事業である老朽管更新事業の令和3年度における配水管布設距離と費用は。

答 令和3年度の配水延長は1,063m、工事費用は6,441万3,800円で、進捗率は35.8%である。



現地視察の様子

令和3年度 決算審査報告

9月30日の本会議において、決算特別委員会委員長より決算審査について報告されましたのでその一部を紹介します。なお、令和3年度の決算額等については、「広報かみさと11月号」に詳しく掲載していますので省略します。

決算特別委員会

委員長 植原 育雄

庁舎管理事業においては、役場庁舎北側駐車場の西に電気自動車充電設備が設置されたが、今後、使用が見込まれるので、町民にピーアールして有効利用して欲しい。

公共交通ネットワーク促進事業では、「こむぎっち号」を現在と同条件で2年間延長しても、正しい検証結果は出ないのではないかと考える。関係者の努力は認められるが、議会全体での意見であるので重要視して欲しい。

ゴミの減量化については、広報かみさと等での住民への周知と共に、各公民館等の公共施設にいつでも持ち込める分別収集所を設置する必要があるのではないか。その他、ゴミの減量化に向け効果のある方法を模索し努力して頂きたい。

障害者福祉事業、主に障害者スポーツとレクリエーションについて、身近にいつでも利用できる施設が必要であるが、一般の施設に比べ障害者施設は大きなスペースが必要になるので広域圏単位での議論を望む。

収束の見えない新型コロナウイルス感染症対策については、令和2年度のワクチン接種の予約方法を見直し予約が取りやすくなり、又、集団接種会場での対応も的確に行われた事は評価できる。今後も、この実績を次年度に活かして欲しい。

議会事務局職員と監査委員事務局職員との併任について、制度上の問題や、監査委員事務局と議会事務局の執務の繁忙期が重なるなどの問題があり、今の状態を続けるのであれば増員すべきである。

児童館の開所時間については、長期休業中の延長について検討すべきである。

男女共同参画推進センターに七本木公民館の機能を移転する計画が予定されているが、公民館は社会教育法で公民館の機能を備えるが必要があり、男女共同参画推進センターの目的と相違している。この2施設複合化には使用料の見直しも含め、どのような利用の仕方が良いのか早めに準備をしておく必要がある。

令和2年9月にスタートした高齢者お出かけサポート助成事業は、歩行困難等によりこむぎっち号を利用できない在宅の高齢者に対し、タクシー運賃の一部助成利用券を交付する事業であるが、ドアツードアのタクシー券助成事業は、利用者の7割から8割の方が満足しているとのアンケート結果であり、今後この事業の拡大が必要である。

商工業振興事業については、大きな目立つ看板を立てて、上里サービスエリア内で上里町の物産をピーアールする事等により、上里サービスエリアの利用者がこのはなパークや周辺の店を利用して頂けるように努力願いたい。

道路維持補修事業では、住民からの要望事項（主に生活道路等）について、要望箇所の改善を計れる様に予算計上すべきである。

学校教育分野については、教材費や学用品の一部を町で予算化し、保護者負担軽減を図って欲しい。また、英語検定・漢字検定・数学（算数）検定料等に補助金の枠を広げたり、放課後子供学習教室（上里っ子ジャンプ教室）を町内全域に広げる等、学力の向上を目指して欲しい。

以上が決算特別委員会の主な意見であり、次年度事業の予算に反映されることを求める。





石井 慎也

問 クラウドファンディング寄付金の使い道は

答 町支援策の応援給付事業への充当を行いたい

質問 1

災害対応について

問 災害時の情報発信として防災無線放送が活用されるがかなり聞こえにくいとの声がある。防災メール等で情報を入力出来ない高齢者世帯に対し、防災放送の内容が手元に届き、安否確認も可能な防災タブレットを配布してはどうか。

答 防災情報メールを御利用いただけない方は放送内容を聞き直す事が出来る電話応答サービスの御利用をお願いしたい。タブレットの配布については事業者からシステムのご概要説明やデモンストレーション等を行っていただいている。

問 災害協定を結んでいる長生村よりブルーシートの支援申し出があったが、遠方の為手配が出来なかった。どのような経緯で長生村や三芳町と協定を結ばれたのか。

答 長生村とは雫石町で開催

された全国下水道推進大会で、三芳町とは埼玉県町村議会の協議で各町村長との意見交換が協定締結のきっかけになった。

質問 2

電ひょう害について

問 雹害による見舞金支援事業はなぜ非課税世帯のみが支給対象なのか。

答 新型コロナウイルス感染症による住民の生活や経済への影響は依然として続いており、真に支援を必要とする経済的困窮世帯として住民税非課税世帯を見舞金の支給対象とした。

問 クラウドファンディングで集めた寄付金の使い道は。

答 上里町独自の支援策、降



雹被害臨時応援給付金事業への充当を行いたい。

質問 3

学校教育費の支払いについて

問 給食費の支払い方法が農協口座からの引き落としのみなのはなぜか。他銀行での引き落としやカード決済、コンビニ払い、コード決済など多様な支払い方法があっても良いのでは。

答 教育長 口座引き落としの際に発生する手数料が最も安いのが埼玉ひびきの農業協同組合のため。保護者ごとに金融機関や支払い方法が異なると学校での管理が複雑化することになるので多様な支払い方法については慎重に検討する必要がある。

問 なぜ学校内で発生する学級費や備品等は、いまだに現金による集金で回収しているのか。キャッシュレス決済を行ってはどうか。

答 教育長 全ての学校で口座引き落とし等を導入するこ

とになると、それぞれの学校規模も違うことから難しいのではないかと思われる。

質問 4

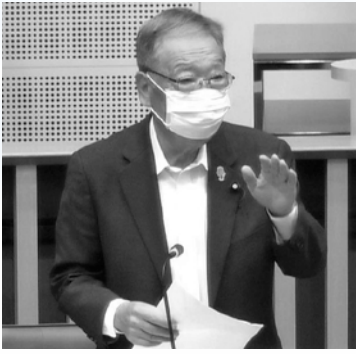
町長の給料について

問 1期目は町長報酬50%削減をどの様な思いで公約に掲げていたのか。

答 1期目は町の行財政の安定化を継続して確保するため、町に身を捧げる覚悟を町民の皆様へ伝えるため公約に掲げ報酬を削減した。

問 2期目は経常収支比率も高い状態で推移し財政健全化比率も悪化している状態なぜ報酬削減を継続しなかったのか。

答 2期目は公約に掲げておらず1期目の実績からご判断頂き、町民の皆様にご託を受けた。給与を満額もらっていないのだよという声や、公約に掲げていないのだからその分仕事をしっかりやって欲しいという匿名の手紙が届いている。



齊藤 崇

問 町の経済対策は

答 財政状況を考慮し効果的な支援策を検討

1 町の経済対策について

問 コロナ禍とは別に今年に入ってからウクライナ軍事侵攻、円安等で電気料金等物価の値上げが今年10月までに2万品目以上に上る。町民に対する公平な支援策を考えているか。

答 全世界に対する支援については予算規模が大きいため、国・県の補助制度を積極的に活用し、事業を実施していく。今後においても、感染状況や社会情勢の動向を見極めつつ、町の財政状況を踏まえ、より効果的な支援策を町民に提供できるように、引き続き検討する。

問 ロシアによるウクライナ軍事侵攻の影響で原油や肥料の原材料が高騰、米価の下落更には降ひょうによる被害で販売農業者が苦境に立たされている。このような状況下で町は農業従事者に対してどのような支援策を講じるのか。

答 一般の物価高騰を背景とした肥料や燃油など農費用資材の高騰に対しては別の支援が必要と考える。町としては、家畜飼料等高騰対策給付金や降ひょう被害臨時給付金などの独自支援に加え、県・ひびきの農協等関係機関と連携し、農業災害対策事業を実施、農業継続支援に努める。

2 成人年齢が18歳になった事に対する18歳医療費無償化の考え方について

問 今年の4月、成人年齢が18歳に引き下げられ、大人として扱われることになった。反面、町の施策では18歳まで子供医療費無償化となっているが考え方は。

答 「こども」とは「満18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある者をいう」と定義されている。このため、民法上成人とされる18歳の誕生日を迎えた日以降の最初の3月31日を迎えるまでは、こども医療費支給事業の

対象になる「こども」として扱うことになる。

3 ゾーン30について

問 ゾーン30指定区域の導入について、埼玉県内でも令和3年度末で315区域ある。ゾーン30を導入したことによる効果は、交通事故の発生率が29.4%減、重大事故も3割減少、町でも導入について考えてはどうか。

答 ゾーン30を導入すること、ゾーン内は原則全ての道

●規制標識



●路面標示



路が時速30キロ規制となり、あらかじめ周辺住民の方々に理解をいただいたり、地域の要望を基に住民、自治体、警察等で十分な検討が必要となり、要望から設定まで2〜3年位時間を要する。

4 害獣対策について

問 害獣対策について、最近我が町でも空き家や耕作放棄地が増加傾向にあり、害獣の棲みかになり、人畜に危害を与えたり、田畑の農作物を荒らしている。町の対策は、また捕獲した時の報奨金制度はあるのか。

答 町では、令和2年に鳥獣被害防止計画を策定、対象鳥獣を定め箱わなによる捕獲等を実施している。警察との情報共有や職員によるパトロールで注意喚起を行っている。令和3年度はアライグマ等計68頭を捕獲。報奨金制度はないが今後調査研究を進めていく。



植原 育雄



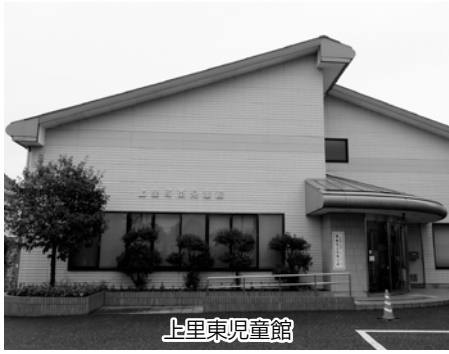
問 住民からの要望事項実現について

答 計画的に順次対応して参りたい

質問 1 児童館の活用改善について

問 小学校低学年を対象に長期学校休業日に限り開所時間を午前7時から午後7時まで延長できないか。

答 保育時間の延長に係る人件費や短期間の人材確保などを考慮するとともに、就学児童がいる御家庭を中心に保護者のニーズや実態を把握したうえで効果検証を行い、導入に向けて検討して参りたい。



上里東児童館

質問 2

こむぎうち号について

こむぎうち号は国の補助

金と町からの支出により運行されている。いずれも税金であるが、町の支出が少なければ良いと思っているのか。

答 貴重な税金なので税金の無駄遣いとならないよう町の財政的負担を考慮しつつ、上里町に適した公共交通サービスを提供したい。

問 こむぎうち号を廃止しA1を利用したデマンド型交通システムを導入したらどうか。

答 現在のこむぎうち号の利便性向上の努力とデマンド型交通の課題及びA1の研究等の実証実験を充分考慮し、令和7年度以降の公共交通サービスを検討したい。

質問 3 窓口申請の住民負担軽減について

問 死亡者の未支給年金・未支払給付金請求に係る「生計同一関係に関する申立書」の簡素化ができないか。

答 年金事務担当者会議等の場で提案させたい。

問 窓口申請者は動かず、職

員が動いて事務処理をする総合窓口（ワンストップサービス）ができないか。また、3階にある教育委員会の対応はどのように行われているのか。

答 システム面や庁舎の配置・人事等を模索した結果、現在に至っている。今後も便利で分かりやすい窓口サービスに努めたい。

問 教育長 保護者の方に3階にある教育委員会まで来て頂き手続きを行っている。転入・転出等、ご家庭の状況により手続きの内容も異なっている。各課で使用しているシステムが違っていることや総合窓口への人員配置などの問題もあり、実施については、関係各課と調整する必要があると考えているが、少しでも住民の方の負担が軽減できるように検討して参りたい。

問 家族や親族が亡くなると、年金や税金、社会保険等に關する多くの手続きが必要となる。これらの手続きをまとめて行える「お悔み窓口」を設

置する市町村が増えている。御遺族の負担を和らげる対応ができるよう当町でも設置できないか。

答 悲しみの中、死亡の手続きは多岐にわたり御遺族には大きな負担となっている。少しでも御遺族の負担を和らげる対応ができるように検討して参りたい。

質問 4 住民からの要望事項の実現について

問 住民の方が署名活動して、地元の区長さんが町に対して要望書を提出している。これに対して「町は予算がないから対応できない」と言う話をよく聞く。住民の方は切実な思いで要望書を町に提出している。住民からの要望事項を実現する為の計画的な予算計上ができないか。

答 過去の要望書を含め、未対応件数は令和3年度末で173件で、主に道路関係である。今後、計画的に順次対応して参りたい。



戸矢 隆光

問 駅北まちづくりで積極的に推進していることは

答 用地取得に向けて地権者と交渉している

1 質問 神保原駅北まちづくり事業について

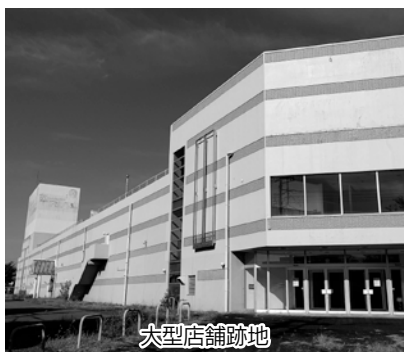
問 町が大型店舗跡地の用地取得に向け測量しているが、この大型店舗跡地に何がふさわしくどのような施設を期待しているのか。町が公共施設を建設する場合は施設の用途を定め、施設の概要を定めてから用地買収というのが基本的な進めかたではないか。この4年間駅北まちづくり事業は様々な計画が出てきているが、現在積極的に推進している事業は見当たらないように思う。将来この地域を考えるとき、17号の沿線開発など地域の人たちが身近に抱える諸問題が当然のごとく出てくる。多くの人には駅前だけでなく、大きなキャパで考え捉える必要があるのではないか。

答 大型商業施設はかつて町の活力の中心を担い様々な活動が生まれた場所であり、基本構想の中においても核と位置づけをしている。地権者よ

り活用できる方法はないかと申し出があり、学校法人に対して移転の可能性を打診した。令和2年7月に移転に関わる基本的な考え方が示され、移転により期待される効果があるとの内容であった。基本構想策定にあたり、住民にはアンケート調査やワークショップを実施し、多くの賛同をいただいた。学校法人とは適宜協議を行いつつ、教育・文化の発展に向けたまちづくりを推進するために、用地取得に向けて地権者と交渉しているところである。

2 質問

こむぎうち号について



大型店舗跡地

問 上里町にも他の市町村と同様にコミュニティバスこむぎうち号が4台循環しており、今までに乗る人が利用しやすいように様々な工夫を行っているが、寂しいことになっていない。難しい問題であるが隣の本庄市の総合病院や駅などに延伸を考えていく必要があるのではないか。

答 市町村が提供するコミュニティバスなどの公共交通サービスの原則その自治体の地域内を走行範囲としているが、最寄りの鉄道駅や住民が多く利用する医療機関がある場合、地理的状况により他市町村へ延伸または他市町村の地域内を走行している事例がある。他市町村の地域を利用する場合は、その市町村の協議会に参加し、協議・合意を得る必要がある。引き続き利便性の向上に向けた協議を行うとともに利用者のニーズを把握し令和7年度から実施する新たな交通手段を検討していき

3 質問 明るい町づくりの意見発表について

問 明るいまちづくりの意見発表会が開催され、様々な子供目線でのまちづくりについての意見が寄せられた。ごみについての意見が多く、路上や河川に捨てられたごみについてきれいにしたいといった意見であった。これらの純粋な意見を参考に行動を起こす、これこそが大人ができるまちづくりであり、子供の気持ちで酌んでやれることがあるのではないか。

答 実現に結びつけるために既存事業の見直し、財政面の検討などが必要であり、費用面で課題のあるハード事業の検討には期間を要すが、ソフト事業などは工夫により取り組めるものもあると思う。今後は子供の意見を反映するため役場各課で発表会の内容を共有しできるものから積極的に取り組んでいきたい。



飯塚 賢治

問

男性用個室トイレにサニタリーボックスを

答

役場庁舎から前向きに進めたい

質問 1

環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化(※)の推進について

問 現在国の事業、エコスクール・プラスとして認定を受けた学校が施設の整備事業を実施する際、補助事業の優先採択などの支援を受けることができ、新増築や大規模改修の他、教室の窓を二重サッシにする等の部分的な事業もあり、活用することは有効と考えるが。

答 教育長 エコスクールについては、環境負荷の低減に貢献するだけでなく、学校施設を教材として活用し、児童生徒の環境教育に資するものであり、大変意義のあるものと考えている。上里中学校は、平成23年度にエコスクール・プラスの前身であるエコスクールパイロット・モデル事業の認定があり、太陽光発電の設置、省エネルギー化、内装の木材利用など実施している。

上里北中学校の改修は、老朽化対策が目的であり、認定は受けていない。

部分的なZEB化事業についても検討を行いながら、学校施設の脱炭素化を推進してまいりたい。

質問 2

災害廃棄物の処理について

問 降ひょう被害時の廃棄物処理の問題点について伺いたい。

答 独居世帯や高齢者世帯に対して、共助としてご近所の皆様がボランティアで片づけ、廃棄物を小山川クリーンセンターへ持ち込んだ時、罹災証明を携帯したが、本人確認ができないと受け入れてもらえない。本人が行けない場合はどうするのか。

答 ご家庭の降ひょうによる廃棄物は小山川クリーンセンターに調整いただき、無料での持ち込みが決定され、その要件は、罹災者本人が持ち込むか、同行が原則で罹災証明

書の提示が必要。同行できない場合は町担当課へご相談願いたい。

問 町の災害廃棄物仮置き場について、以前、用意する考えはあると確認したが、災害規模によるのか。

答 町民の皆様の生活環境を保全し、公衆衛生を確保するために、状況に応じて仮置き場設置を行う。

問 大規模災害時、廃棄物の量が増える。処理の仕方をハンドブックにまとめ、町民の皆様に知らせるべきと考えるが。

答 図解入りのハンドブックの作成について前向きに取り組んでいきたい。

質問 3

带状疱疹について

問



サニタリーボックス設置の例

問 日常生活に支障を及ぼす、激しい痛みに苦しむ方を減らしたい。带状疱疹ワクチンに対し一部助成を願いたい。

答 現在、国の審議会でも有効性や安全性の観点から、定期接種とすることの是非について議論が行われている。議論の動向を注視し、慎重に検討してまいりたい。

質問 4

サニタリーボックスについて

問 使用した尿漏れパットの捨て場所に苦労している男性が多い。町有施設の男性用個室トイレにサニタリーボックスの設置について伺う。

答 公共施設の中でも、シンボリックな建物である役場庁舎から前向きに進めてまいりたい。



高橋 勝利

問 部活動に関する総合的ガイドラインについて

答 県の計画を基に町で推進計画を策定する

質問 1 運動部活動の在り方に関するガイドラインについて

問 ガイドラインでは、生徒

に望ましいスポーツ環境を構築する観点に立ち、部活動がバランスのとれた心身の成長等を重視し地域、学校、競技種目等に応じた多様な形で最適に実施される事を目指すとあります。ことに、スポーツに関してそれぞれ団体が今まで独自の方針で活動してきたが今後どの様にして団体との連携を進めていくのかお聞きします。

答 教育長 6月に出された

スポーツ庁の提言では、県が推進計画を策定し、それを基に各市町村においても推進計画を策定するとなっております。今は、県からの具体的指導等が来ていない段階であり、各種目によって状況が様々であり具体的案を示せる段階ではありません。

問 平成31年の中央教育審議



会答申では、新しい時代の持続可能な学校指導や運営体制のための学校における働き方改革に関する方策が示され、中学校における教師の長時間労働勤務の要因である部活動について、地方公共団体や教育委員会が学校や地域住民との意識の共有を図りながら、将来的には部活動を学校単位から地域単位の取り組みにし、学校以外が担うことも積極的に進めるべきとあります。この中教審の方針が素直に理解されるのか心配です。

答 教育長 中教審答申はス

ポーツ庁の提言を受けたものであり、この提言以上に教員の働き方改革に踏み込んだも

のようになっております。学校週5日制が導入された際、子供たちが地域社会の比重を高めて主体的に使える時間を増やし、ゆとりの中で生活体験や自然・社会体験、文化スポーツなど様々な活動や経験をずる機会を増やすということがうたわれました。

問 公立の義務教育諸学校等の給与に関する特別措置法の付帯決議について、条例の3

条の2では、教育職員については特別調整手当が支給され、時間外手当は支給されないとあります。この中で上限を設けるとありますが、部活動でこの上限が実際に守られているのかお聞きします。

答 教育長 教員には時間外

手当を支給しない代わりに給料月額額の4%に相当する教職調整額を支給する、いわゆる「給特法」が昭和47年施行されました。当時比べ近年、教師の勤務時間は多忙化し、その実態は極めて深刻なものと受け止められています。実

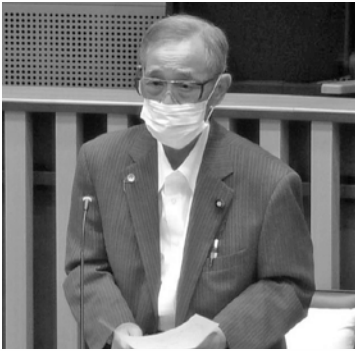
態を改善すべく、教員の働き方改革が進められています。

問 働き方改革を踏まえた部活動改革では、生徒の指導、大会の引率については教師が担うのではなく、地域の人材が担うとあり、令和5年度以降、休日の部活動を望まない教師と、休日に部活動に従事した教師との評価にもつながり問題です。お考えをお聞きします。

答 教育長 現時点では、部

活動の地域移行が段階的に図られた際、教師が休日に部活動を実施するかどうか、また、教師の意思扱いについても県から具体的指導が来ていないので、今は示せる段階ではありません。





新井 實

問 寺社への支援について

答 石神社山車整備にクラウドファンディング有効

質問 1 新型コロナウイルス感染症拡大対策強化について

問 「BA・5対策宣言」新設及び感染抑制への外出自粛要請について。

答 既に県はBA・5対策宣言において、重症化リスクの低い方は県の抗原検査キット送付事業や自己検査後のオンラインによる確定診断などを積極的に活用することを進めています。これは医療への負荷の減少や重症化しやすい高齢者の受診などを配慮してのことと推察しています。

上里町としての今後の新型コロナウイルス感染症抑制策は10〜30歳代くらいの若い人たちのワクチン接種率の向上をはかることが大切な課題であると考えています。

質問 2 SDGsなまちづくりについて

問 埼玉県小川町の「持続可能でコンパクトなまちづくり」を参考に町づくりを

考えることについて。

答 上里町でも近年の円安、肥料高騰など様々な課題に直面しながら、みどりの食料システム戦略などの施策を踏まえ、有機農業をはじめ積極的に各種取組を実践している農家、団体があります。町としては、SDGsの理念に基づき畜産堆肥への助成事業など、環境に配慮した農業に対する支援を行っています。さらに多分野においても小川町のよくな先駆的な事例を参考にしつつ、移住促進、空き家対策、コロナ対応社会の構築等に町として取り組んでいきます。上里町も埼玉県版スーパー・シティプロジェクトに手を挙げています。

質問 3 水素を利用した社会インフラ整備について

問 進む水素の「地産地消」における水素タウン構想と「ゼロカーボンシティ」を掲げ、水素社会の先駆けとなる町づくりについて。

答 水素タウン構想を進めるためには、まず水素を取り出すプラントや太陽光発電など再生可能エネルギー施設等を設置するための広大な土地、各施設を建設、管理、運営するための費用、また、近隣地域への安全対策など、当町において実現できるのか検討が必要であると考えています。

質問 4 寺社への支援について

問 ネットが開く新たな可能性について。

答 石神社の山車は歴史的価値があり、地元の人たちの熱意が大きければ、文化財として指定し、保存、活用が可能であります。平成29年の文化財保護審議会の中でも修復費用やその後の維持管理費用等の確保について、中長期的な計画策定が必要とされました。修復費用を集めるためのクラウドファンディングについては、インターネット上で特定多数の方の協力により

資金を集めるものであり、有効であると考えています。

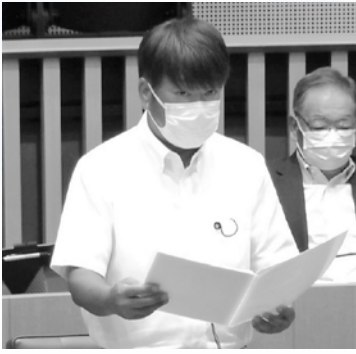


彫刻が施された石神社山車の一部

質問 5 流域治水を着実に進めることについて

問 河川の流域全体で「流域治水」を着実に進めることについて。

答 本庄県土整備事務所に御陣場川整備計画に関し問い合わせたところ、県では小山川ブロック河川整備計画を策定し、順次整備を進めているとのことでした。町としては、まず、事業実施中の小山川ブロック河川整備計画の早期整備を県に対して要望を進めていき、それと並行しながら堤調節池拡張に関して調整してみたいと考えています。



伊藤 覚

問 上里町消防団車両の今後の更新予定について

答 現行車両と同等機能車両へ更新を検討



1 消防団車両の今後の更新予定について

問 第3分団のCD-1型ポンプ車両と、第4分団の水槽付きA型タンク車両は、購入からは相当の年月が経っているが、購入時期はいつ頃だったか。また、今年度の当初予算書には、消防車両の購入予算が計上されていないが、来年度以降の、第3分団のポンプ車両、第4分団の水槽付きタンク車両の購入予定は。

答 第3分団のポンプ車両、第4分団の水槽付きタンク車両は、令和5年で20年が経過している。一般的に、非常備

消防である消防団では20年を目安に更新されているので、消防団役員で構成される消防団本部役員会議に諮り、現行車両と同等の機能を持った車両へ更新を検討する。

2 分団、団員装備品の更なる充実について

問 消防団員が消火活動を行う際には、高規格で作業しやすい装備品が必要であるが、今後の資機材等の導入にあたっては、消防団本部、並びに各分団の要望を幅広く聞き入れ、有事の際には、各分団が差異なく同等に使用できるように、また、団員が自身の安全を十分確保できるようにしてほしい。

答 平成26年2月、総務省消防庁より改正された消防団の装備の基準を基に、安全確保のための装備、救助活動資機材等の充実を図っている。また、分団ごとに装備品の差異が生じないように配備を進めている。

3 郷土資料館における今後の職員体制について

問 現在、郷土資料館、文化財係には2名の職員が在籍しており、そのうち1名が、来

年退職予定と聞いている。その職員は、今までに、その豊富な知識と経験を活かして、数々の発掘調査を行い、数多くの郷土史の研究、執筆など、町の文化財保護、保存に対し、多大なる貢献をされてきた。しかし、来年度新しく採用される職員に対し、その豊富な知識と経験の継承を直接できないことは、町にとって大きな損失ではないか。

答 現在、在職している職員に、一緒に働ける期間を7年間確保したので、後継者づくりはしっかりやってきた。

4 町主体により実施する発掘調査について

問 町が主体となり発掘調査を行う場合、実務経験のある職員が必要だが、来年度以降、

新採用職員に発掘経験がないか、年数が満たされていない場合には、町主体の発掘調査が行えないが、その際はどのように実施するのか。

答 発掘できる基準を満たす職員の確保及び雇用について協議を進めている。実務経験の不足は、国や県の研修、埼玉県埋蔵文化財調査事業団で実施している発掘調査等への出向で補うことも可能である。

5 国道17号バイパス建設工事に伴う発掘予定について

問 現在の進捗状況と今後の発掘予定は。

答 現在、埼玉県埋蔵文化財調査事業団により、金久保内出遺跡の発掘調査が行われているが、年度内に調査を終了すると聞いている。今後は、金久保地区の清水南遺跡や、接続県道建設工事による、保原町地区の北稲塚、下長塚遺跡の発掘調査が行われる予定である。



猪岡 壽

問

神保原地内の下水道処理場跡地の土地利用について

答

町民が喜ぶ活用方法を検討したい

1 神保原駅周辺の開発について

問 神保原駅停車場線はクラック交差を解消し、センターラインを設置、道幅6mとし、両側に歩道を設置し、コンパクトな道路整備を望む。

答 停車場線の拡幅やクラック箇所の解消は、埼玉県と協議を進め、地元の皆様の御理解と御協力をいただきながら駅北町づくりと一体で、検討する。

問 駅南については、農振地域を関越自動車道南側まで移動し、開発し易い白地にして、住宅、店舗を建て易くすべきだが。

答 農業振興地域の変更に關しては、今後、都市計画の検討を行うなどの機会を捉え、議論していきたいと考えている。

2 神保原地内の下水道処理場跡地の土地利用について

問 この土地は町が4億円以上投資し、下水道処理場として購入したが、未だに未処理の状態である。「道の駅」や「ミニ工業団地」が最適と思うが、町長の見解は。

答 当該地については、本庄道路の築造工事の進捗状況や社会情勢の動向を見据えて、町民が喜ぶような活用方法の実現に向け努力・検討する。



下水道処理場跡地

3 税収以外で稼げる町「上里町」にするためには

問 上里ゴルフ場の令和3年度の売り上げは3億5千2百万円、利用者数は5万1千人と年々伸びている状況だ。そこで、地元の野菜や果物を販売したり、もっと景品で採用

していただければ、農業生産者が潤うのではないか。地元生産者とゴルフ場に町が仲介役になり、積極的に進めるべきだが。

答 町外から来場するお客様に上里町をPR出来るようなものを、景品や参加賞として扱っていただくよう、ゴルフ場経営者に要望していく。

問 「このはなパーク上里」については、人気の上里サーブスエリアの隣接地とあって観光入込客数の大幅増が見込まれ、上里町の魅力を発信する重要な場所であると思うが。

答 上里サーブスエリアの存在は、上里町の魅力を発信する重要なツールであるとともに、「このはなパーク上里」のポテンシャルを高めるものであると認識している。上里サーブスエリアにおけるPRイベント等を更に充実させ、「このはなパーク上里」の入込客数の増加を図る。

問 忍保グラウンドは、町外の利用者から場所が分かりに

くいで、看板を17号の入り口に1本、土手の下り口に1本設置願いたい。それと、夏のシーズンはグラウンドの草刈りを頻繁に願いたい。

答 国道17号に看板設置と土手の看板設置は管理者である国と協議する。土手下り口は道路路面標示等で対応できないか検討したい。グラウンドの除草については除草の時期や回数について再検討し、グラウンドが利用しやすいようにする。

問 ふるさと納税については、埼玉県で1位は北本市で、9億7千万円であった。令和3年度上里町のふるさと納税額についてお聞きしたい。

答 町の令和3年度の納税額は1780万5千円であり、前年度比160%であった。令和4年度は年間では、3300万円と予測する。納税額が大幅に伸びている要因は、紳士用ベルトとゴルフ用品を返礼品に追加したことが、要因である。



沓澤 幸子

問 介護施設・保育所等の経費増加に対する支援を

答 効果的な事業所支援を検討したい

質問 1
物価高騰から町民の暮らしを守る対策について

問 物価高騰が続く中、全世帯対象の水道料金の基本料金免除支援を継続し、全町民対象の地域応援クーポン券発行を。

答 全世帯に対する支援は、予算規模が大きいため、地方創生臨時交付金のような国の補助制度活用を前提に慎重に判断する必要がある。

問 物価高騰が続く中、1食4円の公費負担を見直し、保護者負担を増やさずに、食文化としても重要な学校給食の提供を。国内産100%の手作り給食と、本庄市と一緒の無料化実現を目指しながら、特別対策の給食無料化を継続すること。

答 価格変動の少ない冷凍食材を取り入れる等、保護者負担とならないよう努力したい。給食無料化は、国・県の制度を最大限活用できるように検討



本庄上里学校給食センター献立例

したい。

問 介護施設・保育所・学童保育所・幼稚園・障害者施設等の、おやつ代や光熱費、コロナ対策等の経費増加に対する支援を。

答 町の福祉施設を支援していくことは重要であり、効果的な事業所支援を検討したい。

問 生活保護制度の保護費の例を示し、「生活保護の申請は権利です、気軽にご相談を」などのポスターを張り出し、相談しやすい体制を。

答 生活困窮者の増加が想定されるので、制度解説パンフレットの窓口設置、ポスター等も含め広報活動を進めたい。

質問 2
教育の充実について

問 小・中学校で使用する教材備品の個人購入品を精査して、共同で使えるものは学校教材に切り替えること。また、ドリル・プリント等の教材費の無料化の検討状況は。

答 教育長 SDGsの基本理念を踏まえ、資源の有効活用を心掛けていますが、引き続き教材費の一部負担について前向きに検討したい。

問 校則の点検・見直しと制服の見直しの検討状況は。制服については、期限を決めて議論する「制服検討委員会」等を発足する考えは。

答 教育長 本年度、髪型と下着についての記載を変更した。校則は学校が決めるものだが、要望は随時受け付けている。制服は教育委員会が主導するものではないので、各学校長に問題提起しながら慎重に準備をしている。業者等の関係、長期に使用するもの

でありいろいろな方面から検討している。

問 公立中学校の休日の部活指導の地域移行が2023年から始まるが、教員の多忙化解消に猶予なく進めるための計画見直しは。

答 教育長 現段階では、スポーツ庁からの計画も示されていない。スポーツ少年団・スポーツ協会に、協力の可能性を伝えている段階。

問 「生命の安全教育」が、23年度から本格実施されるが、体の権利教育という観点に立った、包括的性教育、ジェンダー平等や性の多様性を含む人権尊重を基盤とした性教育など『国際セクシュアリティ教育ガイドランス』に基づいた教育を。

答 教育長 人権尊重、性犯罪、性暴力の根底に誤った認識や行動、また、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、生命を考え、一人一人を尊重する態度を指導したい。

第6回 10月 臨時会

10月14日

令和4年度補正予算

上里町一般会計補正予算
(第9号)

概要 歳入歳出それぞれ3億5697万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を113億8845万4千円とするものです。

主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業 1億8031万9千円
- ・町内消費活性化推進事業 (全町民に3000円の商品券を配布する事業) 1億789万3千円
- ・商工業振興事業 (ふるさと納税納付見込額増加に伴う返礼品にかかる消耗品費) 4968万円

第6回臨時会(10/14) 議案に対する各議員の賛否

議案	石井慎也	伊藤 覚	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	高橋正行	新井 實	沓澤幸子	高橋 仁	黛 浩之 議長	結 果 可決
令和4年度上里町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。

(○)賛成 ×反対



- ・地方創生推進事業(キャッシュレス決済推進事業委託料・プレミアムポイント等)にかかる予算不足によるもの

9500万円

概要 歳入歳出それぞれ9500万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ114億8345万4千円とするものです。

上里町一般会計補正予算
(第10号)

令和4年度補正予算

第7回 10月 臨時会

10月26日

第7回臨時会(10/26) 議案に対する各議員の賛否

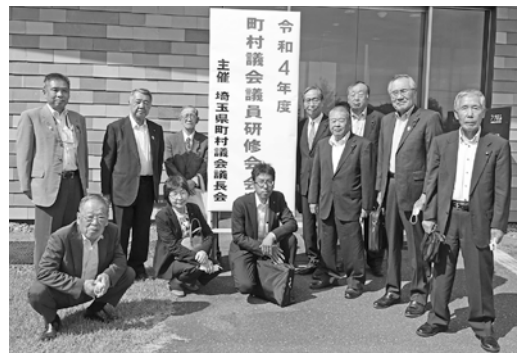
議案	石井慎也	伊藤 覚	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	高橋正行	新井 實	沓澤幸子	高橋 仁	黛 浩之 議長	結 果 可決
令和4年度上里町一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和4年度 埼玉県町村議会議員研修会レポート

10月4日、埼玉県町村議会議長会主催の町村議会議員研修会が吉見町の「フレサよしみ」に於いて開催されました。コロナ禍となり3年ぶりとなりました。講演内容は「組織づくり・人づくり」と題され、埼玉高速鉄道株式会社代表取締役社長・荻野洋氏の講演を戴きました。今各市町村で悩みの種である人口減少・少子高齢化に伴う交通インフラの重要性や稼げる町づくりの為に観光業の「産業化」など、まさに今上里町で直面している課題にマッチングした講演内容でした。

今回の講演内容を生かし勉強し、今後の上里町の発展に寄与できるように議会全体で活動していきたいと強く感じました。また私自身も新人議員として日々勉強致します。

金子義則



第1回 意見交換会ならびに議会報告会を開催しました

上里町議会としては初めての「意見交換会」、「議会報告会」を開催しました。参加者の皆様からいただいた貴重なご意見は、今後の議会活動に活かしていきます。

日時	10月29日(土) 13時30分～16時
場所	上里町役場4階大会議室
内容	①令和3年度決算審査報告 ②意見交換(自由意見)
参加者	23人



いただいた ご意見の二部

- ・議員には町が将来にわたって困るようなことがないように監視していただきたい。
- ・物価高騰の中、農業とエネルギーの問題を町としてどう関わっていけるか考えて頂きたい。
- ・高齢者や孤独な方々が集える居場所をつくっていただけたらうれしい。
- ・費用がかかるからダメだというだけでなく、本当に町に何が必要なのかを考えて頂きたい。
- ・少子化または医療を最優先にするにはどうしたらいいのか考えて頂きたい。
- ・個別避難計画について、事業者と町との協力体制がどうなっているのか見えてこない。 他

アンケート 結果

7割の方が「よかった」と回答

問1 あなたの年齢は

20歳未満：1人 20歳代：0人 30歳代：1人 40歳代：1人
50歳代：2人 60歳代：4人 70歳代：8人 80歳以上：4人

問2 あなたの性別は 男性：10人 女性：11人

問3 あなたのお住まいは

賀美：2人 長幡：3人 七本木：3人 上里東：3人 神保原：10人

問4 今回の意見交換会ならびに議会報告会の開催は何で知りましたか(複数回答)

広報かみさと：14人 毎戸配布チラシ：7人 ホームページ：1人
ポスター：1人 議員から：2人 その他：3人(区長から、所属団体からなど)

問5 内容はいかがでしたか

良かった：15人 良くなかった：1人 どちらともいえない：2人 無回答：3人

問6 今後の開催についてご希望はありますか(複数回答)

午前中：1人 日曜日：6人 平日：2人 地区に分かれて：1人
グループに分かれて：3人 身近なテーマを設けて：10人 その他：2人(遅い時間など)

問7 感想など

- ・多くの方の発言があってよかった
- ・勉強になった
- ・良い企画であると思う
- ・もう少し気楽に話合える雰囲気づくりを
- ・一般の参加者に分かるように話してほしい
- 他

議会日誌

9月

- 2日 定例会開会、町長の行政報告
一般質問
- 5日 一般質問
- 6日 全員協議会
- 7日 議案審議(条例改正、補正予算等、
決算総括説明)
- 8日 議案審議(決算意見書報告)
- 9日 決算特別委員会(令和3年度決算
審査)～26日
- 22日 議会広報広聴常任委員会
- 28日 児玉郡市広域市町村圏組合議会
- 30日 全員協議会、決算報告、定例会閉会

10月

- 4日 埼玉県町村議会議員研修会
- 14日 臨時議会、全員協議会
議会広報広聴常任委員会
- 26日 臨時議会、全員協議会
- 28日 本庄上里学校給食組合議会臨時会
- 29日 意見交換会ならびに議会報告会

11月

- 3日 上里町表彰式典
- 6日 かみさとふれあいまつり
- 8日 児玉郡市広域市町村圏組合行政視察
- 9日 総務経済常任委員会
- 16日 議会運営委員会、議会広報広聴
常任委員会
- 18日 児玉郡町村議会議長会役員会



編集後記

行われました。上里町議
会としては初開催のため、
来て頂ける町民はいるの
か不安がありました。が、
当日は多くの方にご参加
頂き、様々なご意見を聞
く事が出来たとて勉強

10月29日
に意見交換
会および議
会報告会が

になりました。頂いたご
意見を一つでも多く町政
に生かしていかれたらと思
いました。町民の皆様にお
議会で行っている事をお
伝える議会だよりはと
ても大切な物だと感じま
した。一人でも多くの方
に読んで頂けるよう作成
に力を入れていきたいで
す。

- 議会広報広聴
常任委員会
- 委員長 齊藤 崇
 - 副委員長 伊藤 覚
 - 委員 石井 慎也、高橋 勝利、植原 育雄、高橋 仁、戸矢 隆光

12月定例会の日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
	(開会) 一般質問	一般質問		議案審議	常任委員会	
11	12	13	14	15	16	17
	常任委員会	(閉会) 報告・採決				

※開会は原則午前9時です。午前中で議事が終了しない場合は、午後
の再開は1時30分です。(時間は変更になることがあります。)
※議事の進行上、休憩が入る場合があります。

12月定例会一般質問一覧

氏名	質問事項	
5日(月)	猪岡 壽	①地区の公会堂建設補助金について ②基金について ③総合病院について ④観光協会の設置について
	新井 實	①政府の総合経済対策について ②新学習指導要領の実施で学習評価のあり方が変わる 中、高校入試と内申書を巡る動きと課題について ③園児のバス放置対策について ④部活の地域移行について ⑤災害時の避難所運営について ⑥上里町の観光振興策について
	戸矢 隆光	①令和5年度予算について ②公共用地について ③上里サービスエリアを含めた活性化について ④八町河原地内のつり場の復活について
	高橋 勝利	①旧トライアル跡地活用・今後の課題について ②地域における困りごとに関するアンケート結果について ③高校入試の部活動配点について ④教育長の上里町教育行政について
	伊藤 覚	①国道17号バイパス建設予定地周辺の整備について
	金子 義則	①救急医療体制について ②給食費教材費補助、生理用品の配置整備について ③ひきこもり対策等について ④PayPayキャンペーンの総括について ⑤お家の無いねこについて
6日(火)	飯塚 賢治	①防災について ②児童虐待について ③子育て支援について ④新しい祭りについて ⑤ひきこもり支援推進事業について
	齊藤 崇	①人口減少対策について ②介護について ③保健センター等複合施設について
	沓澤 幸子	①駅北まちづくりについて ②生理用品について ③学校の空調について ④生活道路等の整備について ⑤公共下水道終末処理場予定地跡地について
	石井 慎也	①神保原駅周辺事業について ②公共施設のコロナ対策について ③教育長、教育委員の選任について



町政を便利にする